

# 亜くろいし 市議会だより

第 8 号

平成 27 年  
3 月 1 日発行

12 月定例会



昭和35年以前 冬の柵の木通り



現在

## 目次

議会の概要…………… 2

議案一覧…………… 3

市政に対する一般質問  
…………… 4～6

行政視察報告…………… 7

議会トピックス…………… 8

## 平成26年第4回定例会の概要

平成26年第4回定例会は、11月27日から12月9日までの13日間にわたって開かれ、市長提出の1報告・31議案、議員提出の2議案を、慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・可決・同意いたしました。また陳情1件を総務教育常任委員長長の報告のとおり一部採択としました。各議案の議決結果と各会派の賛否は次ページをご覧ください。

### 議案第160号 弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結に対する討論

この議案は弘前市と黒石市が相互に役割を分担して連携を図り、共同し、又は補完し合う政策分野、取組の内容及び役割分担に次の項目を加えるものです。

- ・大石武学流庭園の調査、普及及び活用
- ・重要伝統的建造物群保存地区における修理修景等事業及び活用事業の推進
- ・使用済小型家電リサイクルの促進
- ・消費生活相談体制の広域的対応

#### 反対討論

協定の中身、またこれまでを見ても弘前市主導でいろいろな問題があり、弘前に振り回されてしまうのではないかと危惧している。もっと別なやり方があるのではないか。

#### 賛成討論

弘前を中心にしながら各市町村で力を合わせ、良い方向に向かうものである。観光、住民サービスが盛り込まれている。専門家が必要な分野では、連携して活用するべき。

賛成多数により原案可決

### 議員提出議案第7号 西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書

本議案は平成25年第4回定例会でも提出されたものであり、前回同様、反対、賛成の討論がありました。

賛成多数により原案可決

### 議員提出議案第8号 津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書

本議案は平成25年第4回定例会でも提出されたものであります。

全会一致により原案可決

### 陳情第1号 市立黒石幼稚園の来年度入園児募集停止と閉園に反対する陳情

黒石幼稚園の存続を願う会より提出された「市立黒石幼稚園の来年度入園児募集停止と閉園」を一度白紙に戻した上で存続について再検討していただきたい旨の陳情は、総務教育常任委員会に付託となり、委員長報告は、来年度入園児募集停止に反対については採択、閉園に反対については不採択との一部採択としました。

それに対し、反対、賛成の討論がありました。

委員長報告に対し、賛成多数で一部採択

## 第4回定例会の議決結果と各会派の賛否一覧（○は賛成、●は反対）

番 号	件 名	会 派 名	自民・公明 ク ラ ブ	黒石市民 ク ラ ブ	日 共 産 党	本 党	議 決 結 果
報告第30号	平成26年度黒石市一般会計補正予算（第8号）について		○	○	○		承 認
議案第135号	黒石市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○		原案可決
議案第136号	黒石市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○		原案可決
議案第137号	黒石市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○		原案可決
議案第138号	黒石市国民健康保険黒石病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○		原案可決
議案第139号	黒石市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○		原案可決
議案第140号	平成26年度黒石市一般会計補正予算（第9号）		○	○	○		原案可決
議案第141号	平成26年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○		原案可決
議案第142号	平成26年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○		原案可決
議案第143号	平成26年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○		原案可決
議案第144号	平成26年度黒石市簡易水道特別会計補正予算（第2号）		○	○	○		原案可決
議案第145号	平成26年度黒石市水道事業会計補正予算（第2号）		○	○	○		原案可決
議案第146号	黒石市景観づくり条例制定について		○	○	○		原案可決
議案第147号	黒石市児童デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○		原案可決
議案第148号 から 議案第156号	黒石市農村環境改善センター、黒石市立中郷公民館及び黒石市北地区小体育館、黒石市立山形公民館、黒石市立浅瀬石公民館、黒石市立東公民館、黒石市立中部公民館、黒石市立牡丹平公民館、黒石市立上十川公民館、黒石市西部地区センターの指定管理者の指定について		○	○	○		原案可決
議案第157号	黒石地区清掃施設組合格約の一部変更について		○	○	○		原案可決
議案第158号	津軽広域連合格約の一部変更について		○	○	○		原案可決
議案第159号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合格約の変更について		○	○	○		原案可決
議案第160号	弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について		○	○	●		原案可決 (起立多数)
議案第161号	教育委員会委員の任命について		○	○	○		同 意
議案第162号	平成26年度黒石市一般会計補正予算（第10号）		○	○	○		原案可決
議案第163号	平成26年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○		原案可決
議案第164号	平成26年度黒石市水道事業会計補正予算（第3号）		○	○	○		原案可決
議案第165号	黒石市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○		原案可決
議員提出議案 第7号	西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書の提出について		○	○	●		原案可決 (起立多数)
議員提出議案 第8号	津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書の提出について		○	○	○		原案可決
陳情第1号	市立黒石幼稚園の来年度入園児募集停止と閉園に反対する陳情		○	○	●		一部採択 (起立多数)

# 第4回定例会一般質問



自民・公明クラブ  
くろいし ななこ  
**黒石 ナナ子** 議員  
(一括方式)

**問** 姉妹都市永川市・宮古市について。両市との今後の交流についてはどのように考えているか。

**答** 韓国永川市とは、当面、高校生のホームステイ相互派遣を軸に交流を展開していきたいと考えています。市職員の派遣交流については永川市からの受け入れは可能ですが、黒石市からの派遣は難しいと思っています。宮古市とは平成28年度に姉妹都市締結50周年を迎えますので、1つの契機として記念事業を両市で企画する中で新たな展開が生まれてくるものと期待しています。

**問** 中野もみじ山について。大勢の観光客に対応するため、受け入れ体制の整備を図ってはどうか。また、本年初の試みであったもみじ山でのよさこい演舞だが、来年も考えているか。

**答** トイレの増設や老朽箇所対応は現場を確認し優先順位を含めて精査し、改善を検討したいと思います。よさこい演舞などの催しについては、一定の効果があると考えられることから、来年については前向きに検討したいと考えています。



自民・公明クラブ  
なかた ひろふみ  
**中田 博文** 議員  
(一問一答方式)

**問** ふるさと納税の特典導入について。地方創生の一助として、政府によりふるさと納税の拡充が検討されている。当市も特典を導入して、自前の収入を増やすことを考えてもらいたい。

**答** 市の厳しい財政状況を憂いて寄附してくださる厚意に物品で返礼することは考えていません。現在、寄附金の使途を明確にするなどの方策をとっておりますが、特典がなくとも寄附しなくなるようなアイデアを検討し、対応していきたいと考えています。

**問** 市庁舎の新築について。耐震調査の結果危険な建物とされた場合、どのような対応をとるのか。新築するとなると、どのような規模と額になるのか。

**答** 診断結果により耐震補強工事なのか改築工事かの判断になります。新築に係る事業費はまだ想定していませんが、近隣の例として五所川原市は新庁舎建設基本計画によりますと約50億円、事業費を見込んでおり、平川市は21億円以上の事業費を見込んで、検討に入っているとのこと。



自民・公明クラブ  
いとう たかふみ  
**工藤 和行** 議員  
(一問一答方式)

**問** 26年産米の価格下落対策について。概算金として過去最低水準まで下落し、来年度からの耕作意欲の減退、耕作放棄地の増加といった事態が心配されるが、黒石市としての対応をどう考えるか。

**答** 稲作農家の生産意欲が減退とならないよう、年度内に種子購入費、ナラシ対策積立金や改良区負担金の一部助成等、他自治体の支援策や財源確保を考慮し、あらゆる角度から検討します。

**問** 「3・4・7黒石環状線」について。八甲の黒石ガス東側交差点からりんご研究所西側までの工区に13億円という巨費を投じて整備するわけで、私としては、その先りんご研究所から浅瀬石にぬける県道整備部分も整備意義としてセツトと考える。これまでの県への要望を見ると、働きかけや表現方法が全く弱い。もっと強く要望、迫るべきでは。

**答** 津軽南市町村連絡協議会を通じて継続して要望しておりますが、現地の状況や市の強い意向を更に伝えるため、表現方法を精査し、様々な場面で、市にとって重要な課題であり、早期整備を望んでいることを訴えたいと考えています。



自民・公明クラブ  
いまい たかし  
**今井 敬** 議員  
(一問一答方式)

**問** 黒石幼稚園の来年度入園児募集停止と平成28年度閉園という決定に際し、保護者への事前の説明や協議もなく保護者から反対や不信感が高まっているが、方針に変わりはな  
いか。

**答** 平成17年度に廃園や民間移譲が検討され、21年度に「5年をめどに再度協議する」と決定しましたが、26年4月入園の3歳児がわずか2人でした。同園の将来的な運営を教育的視点や財政的視点等から総合的に勘案し、苦渋の決断をしたものであり、今後も方針に変わりはありません。保護者の皆様への事前の説明不足は否めず、大変申し訳なく思います。

**問** 市長公約の「雪のなご街づくり」の中身は。また、当市はアメダスによる雪観測が行われていないが、強く要望しているがどうか。

**答** ユニバーサルデザインを考えを採用し、融雪溝や除雪機を利用して歩行空間を確保するなどの誰もが利用しやすい街づくりと、除排雪ボランテニアなど今以上の仕組み作りを考えたいと思います。

気象観測システムアメダスの設置については、これからも国や県に要望していきたいと考えています。



自民・公明クラブ  
くどう としひろ  
**工藤 俊広** 議員  
(一問一答方式)

●地方創生について。  
**問** 当市の問題点は何か。

**答** 人口減少、少子化、高齢化が深刻な問題であり、中でも20歳から24歳までの人口流出が28.3%と高く、就職、進学に伴う若い世代の移動が要因と考えられます。若者の雇用対策が重要であり、大都市圏からの受け入れ対策を講じる施策も進めたいと思います。自主財源の確保も重要な課題で、6次産業化の研究、農産物の販売戦略を国の施策とどうタイアップしていけるか全庁挙げての取り組みとしたいと考えています。

**問** 取り組み強化の体制づくりをどう考えているのか。

**答** 施策提案プロジェクトチームを発足させました。黒石の夢を語ってもらい5年後、10年後の黒石を考えていきます。また今後の施策立案のチームも考えなければいけません。市職員、議会、市民、専門家、国などあらゆる地方創生の知恵を活用していきたいと思っています。

●ピロリ菌の公費助成について。

**問** 年齢制限、自己負担を求める形にすれば大きな財政負担にならないかと思うがどうか。  
**答** 現在検討中です。



自民・公明クラブ  
おおくぼ ともやす  
**大久保 朝泰** 議員  
(一問一答方式)

**問** 黒石ねぶた祭りは合同運行60周年の節目を迎えるが、市としての対応を考えているか。

**答** 来年、伝統ある黒石ねぶた祭りは合同運行60周年を迎えると同時に、黒石青年会議所も創立60周年を迎えます。まさに、ねぶた運行の歴史とともに歩んできたと言っても過言ではありません。合同運行60周年についての市の対応は、まず主催者である青年会議所の意思を尊重し、要請があれば対応したいと思っています。

**問** 交通安全について。危険箇所への対応と、カラー舗装の導入についての考えはどうか。

**答** 危険箇所への対応について、市では平成25年度路肩改良工事、カーブミラー4箇所の新設や26箇所の修繕を実施し、注意喚起看板を3箇所に設置しています。信号機や横断歩道、道路標識などの設置は、黒石警察署へ要望申請しています。危険箇所へのカラー舗装の導入については、安全対策上の費用対効果等も踏まえながら研究しています。また、他自治体の状況を把握し、効果や積雪対応も考慮しながら研究したいと思っています。





黒石市民クラブ  
やまだ みつゆき  
**山田 敏一** 議員  
(一括方式)

**問** 黒石市が元気になるには市職員が元気になる必要がある。職員給与の削減はいつまで続けるのか。

**答** 職員の給料削減については各年度の財政状況を勘案することとなりますので、現段階ではいつまでとは申し上げられません。

**問** 市本庁における女性管理職登用の取り組みはどのようになっているのか。

**答** 平成26年4月1日現在、本庁における管理職の女性登用率は18・8%となっています。近年新採用職員における女性が占める割合が高くなっており、それに伴って管理職の女性登用率も増加していくものと思われま

**問** 農林商工部を農林分野と商工分野に分離する構想などの行政機構の見直しについて市長の考えは。

**答** 課題が山積している現状を考慮した結果、農林商工部の分離も含め、現在市が抱えている課題の洗い出しや方向性を見いだすことが先決であると考えています。一方で、各分野を横断して総合的に政策・企画立案を推進していく部署の設置が必要であると考え、現在検討中です。



自民・公明クラブ  
おおみ まさひろ  
**大溝 雅昭** 議員  
(一問一答方式)

**問** 黒石の里山で近年行われたスポーツイベントは。スポーツイベントの可能性と、観光に結びつく可能性についての考えは。

**答** こけし駅伝、デュアスロン、マウンテンバイク、トレイルランニングなどが行われています。

市内には恵まれた自然があり、スポーツイベントを実施することが可能だと思います。まず専門的知識のある方々から情報を収集したいと考えます。また、有効な観光コンテンツであると考えます。

**問** 児童生徒や若者の海外研修などの人材育成の取り組みは。国の外郭団体の海外研修に補助してはどうか。

**答** 永川市との高校生のホームステイ事業は19年度24年度は受け入れ、23年度25年度は派遣しました。次回は来年度受け入れを実施したい考えです。オーストラリアのチズム校との中高生の交流は平成6年度から行われていたが、現在は休止しています。海外派遣団の受け入れ事業については、交流相手の意向、あるいは市の財政状況等を踏まえながら検討していきます。

国際青少年研修協会の海外派遣事業等に助成できるように検討していきます。



日本共産党  
くわつ しんじ  
**工藤 禎子** 議員  
(一問一答方式)

**問** 黒石病院の医師体制と診療科について。

小児科の常勤医師は退職しますが、常勤医師の確保ができないと小児科の入院はなくなるし、その影響で産科の入院もできないことになる。脳神経外科も2人から1人体制になり、入院患者の対処に制限が出ています。医師を確保し、小児科・産科の入院を継続するなど、市民の命と健康を守るべきです。

**答** 医師の確保は地域医療の根幹をなす重要なものであり、現在の診療科の維持を継続するためにも、今後も常勤医師の確保に努めてまいります。また、現在は弘前大学医学部から全面的な御支援をいただき、診療機能を維持しております。



**問** 米価暴落などで農家は減収になる。融資を受けないと年を越せない状況にもなっている。種子購入費助成だけでなく、一俵あたりの補てんなど支援策を考えているのか。

**答** 市の支援策については、米概算金の下落が稲作農家の生産意欲減退とならないよう、あらゆる角度から検討します。

●行政視察報告

日本共産党

(工藤 禎子)

視察先

沖縄県読谷村  
沖縄県西原町  
沖縄県南風原町

(H26年11月  
4日～7日)

【「健康づくりサポーターの特定健診の受診率向上」について (読谷村)】  
【「健康づくり推進員」について (西原町、南風原町)】  
【「北丘ハイツでの小地域福祉ネットワークの取り組み」について (南風原町)】

読谷村の健康づくりサポーターの活動は、未健診者への家庭訪問や健康づくりに関する啓発活動・健診等への協力です。黒石市でも受診率向上のために現状を分析し優れた事業は取り入れるべきと思いました。

西原町は食生活改善推進員及び健康づくり推進員の取り組みを重視し、10年かけて100人の食生活改善推進員を確保しています。黒石市としても、目的とやりがいを明確にして増やしていく必要性を感じました。

南風原町の社会福祉協議会は、小地域福祉ネットワーク事業に取り組んでいます。気になる世帯の見守りで健康づくりの場として身近な地域の受け皿となっています。黒石市も社会福祉協議会と連携を強めた取り組みが必要だと考えさせられました。



●行政視察報告

自民・公明クラブ

(村上隆昭・工藤俊広  
北山一衛・大溝雅昭  
大久保朝泰・中田博文  
今井 敬・黒石ナナ子)

視察先

熊本県玉名市  
佐賀県嬉野市  
福岡県糸島市

(H26年11月  
10日～13日)

【「キラリかがやけ玉名づくり応援事業補助金」について (玉名市)】  
【「伝統的建造物群」「ピロリ菌検査」について (嬉野市)】  
【「いとしま共創プラン」について (糸島市)】

玉名市、糸島市の学校区によるまちづくりは、自主的な活動を行うために、地域で長期計画を立てる事から始まります。それに基づいた事業を行い、市は職員等のサポートとハード・ソフトに補助金を出します。黒石市も地区協議会の活動に地域の計画が必要であり、それに行政のサポートがなければ自主的な活動は難しいと感じました。



嬉野市のピロリ菌感染検査は24年度30歳限定で5千円の補助を開始し、受診者数は31名、翌25年度は30歳～49歳に拡大し48名。26年度は集団検診に血液検査として導入。年間25万円位で胃がん対策に効果が有る事業です。伝建群保存地区は街並み交流集会所が整備されています。電線は建物の裏に配線しており、参考になりました。

●行政視察報告

自民・公明クラブ

(村上啓二・工藤和行)

視察先

熊本県益城町  
熊本県八代市  
鹿児島県指宿市

(H26年11月  
17日～20日)

【「低コストの下水処理施設」について (益城町)】  
【「住民自治によるまちづくり」について (八代市)】  
【「自治会の法人化」について (指宿市)】

益城町では曲管を使用しマンホール数を減らす、連続伏越による自然流下で圧送箇所をなくす等、従来工法に比べ下水処理施設の大幅なコスト減を達成。黒石市としても下水道の延伸に参考になるものと思われます。

八代市では住民自治について視察。黒石市では今後、適正配置という問題を控え、また住民自治を拡充して行きたいとする市長の考えもあり、特に住民の参加状況や問題点を重視して視察。地区への予算配分等、当市にとって参考になる部分が大いにあると思われます。

指宿市として、町内会の法人化を推奨している状況を視察。黒石市としても町内会等、資産を持つ地縁団体の諸問題への対策に役立つのではと思われます。



●行政視察報告

黒石市民クラブ

(佐々木隆・山田鉦一  
後藤秀憲・福士幸雄  
工藤和子)

視察先

沖縄県宮古島市  
沖縄県糸満市

(H27年1月  
19日～22日)

【「宮古島市立学校適正化」について (宮古島市)】  
【「糸満市風景づくり計画」について (糸満市)】

宮古島市の市立学校適正化については、地域懇談会での意見や各地区からの要請・要望・アンケート調査の結果を尊重していました。当市においても参考になると思われます。

糸満市では、「ひかり」「みどり」「いのり」をつなぐ風景づくりを理念とし、「糸満人の誇りを持つ」とを合い言葉としていました。地元を愛する気持ちは、日本どこへ行っても同じであると改めて触れました。

宮古島市では下地市長を表敬訪問し、市長は「青森県には行ったことがない。寒い冬にぜひ1度訪れたい。」と述べ、私たちも「何か共通の物があれば、これから姉妹都市も視野に入れての交流を検討できないか。」と打診した。下地市長は「何もなくても人的交流から始めて発展させるというやり方もある。」と、非常に意義ある訪問でした。



## 「議会基本条例について 最終回」

今回は条例の第6章、第12条から最後までの内容を説明します。

第6章は、議会機能の充実について、第12条から第17条まで定めています。

第12条には、委員会の特性を活かして行政課題に適切かつ迅速に対応するとともに市民に分かりやすい議論を行うことを定めています。第13条には、議員の研修及び各分野の専門家、市民等との研修会による専門的知識の習得を図ることを定めています。第14条には、市民に開かれた議会として、議会活動の内容について議会広報を通じて公表するとともに、市民が議会と市政に関心を持つよう努めることを定めています。第15条には、議会事務局の調査及び法務機能を充実させることにより、議員の職務に対する事務局の補佐能力を向上させることを定めています。第16条には、議員の調査研究に資するため、議会図書等の充実について定めています。第17条には、議会が機能を保持し、円滑な議会運営により市民の負託に応えるための予算確保について定めています。

第7章は、議員の政治倫理、定数及び待遇について、第18条から第20条まで定めています。

第18条には、議員は市民の代表者としての自覚と良識を持ち、自らの明確な政治倫理基準に基づき、誇りと強い意志を持って市政を担い、常に説明責任を果たしていかなければならないことを定めています。第19条には、議員定数は条例で定めることとされています。定数改正に当たっては、地方分権時代における議会の果たす役割を慎重に考慮して定めることと、条例改正議案は原則的に委員会又は議員が提出することを定めています。第20条には、議員報酬は条例で定め、改正に当たっては委員会又は議員が明確な改正理由を付して提案できることを定めています。

第8章は、最高規範性及び見直し手続について、第21条22条で定めています。

第21条には、この条例が黒石市議会の諸規定の中で最も上に位置するものであって、議会に関するほかの規定については、この条例との整合性を図ることについて定めています。第22条には、この条例に定める目的が達成されているかの検証と見直しその他必要な措置を議会一般選挙ごとに講ずることを定めています。

### 黒石市議会

## 第6回 「議会報告会」

平成26年12月19日午後2時からスポカルイン黒石において6回目を迎えた議会報告会を開催いたしました。このたびの報告会は、議員にとっては、任期中最後の報告会となります。

はじめに26年度の決算報告と、除雪対策、幼稚園問題、西十和田トンネルと上水道料金の値下げを求める議員提出議案についての報告を行い、その後、質疑に入りました。市民の皆さんからは率直な意見を聞かせて頂きました。

まず農業問題に関する要望がありました。農業の高騰、中山間地などの基盤整備問題、TPPなど農業を取り巻く環境の厳しさの訴えがあり、議会の取り組むべきこと、農協が取り組むべきこと、自己責任の問題をそれぞれ考えていかなければならないのではないかと答弁しました。

次に幼稚園の閉園に対する内容の確認があり、園児募集の延長と、在園児の今後の対応について説明をしました。質問者の方には概ね納得いただいたと思っております。また学校の統廃合についての地域ごとによる意見もお聞きいたしました。小中一貫、連携のモデル地区にしてほしいという意見や、少人数学級解消の為に全地域一体で取り組むべきではないか等の意見を伺いました。

今回は研修目的で鯉ヶ沢町の議員さんも見学に訪れました。

これからも、さらに多くの市民の皆さんが議会に対しての関心を持って頂ける様、努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



### 編集後記

「冬来たりなば春遠からじ」と昔の人は言いました。この寒い時期の先には、また春が巡ってきます。それまで市民の皆様、身体に気をつけて風邪を引かないようにしたいものです。

さて、議会だよりも第8号を発行することとなり、編集委員6名で、毎回、毎回、議論を連れ、市民の皆様へ愛される議会だよりを目指し頑張っております。

これからも市民の皆様への愛読紙となるよう、よろしくお願いたします。

工藤 和子

### 議会だより

## 編集特別委員会

委員長	大溝 雅昭
副委員長	工藤 和博
委員	中田 博子
委員	佐藤 隆子
委員	黒石 ナナ

### お問い合わせ先

## 黒石市議会事務局

〒036-0396  
黒石市大字市ノ町1番地1号  
FAX 0172-521219  
電話 0172-521210